

(臨床研究に関する公開情報)

公立陶生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 外科的肺生検を施行した強皮症関連間質性肺疾患（SSc-ILD）の病理所見が治療反応や予後に与える影響を検討

[当院研究責任者] 呼吸器・アレルギー疾患内科 廣田周子

[研究の背景] SSc-ILDは慢性進行性の疾患であり、強皮症の死因の約35%をしめています。従来SSc-ILDの肺病理は炎症細胞浸潤が乏しく、ステロイドや免疫抑制剤など抗炎症治療が他の膠原病に比べて効きにくいと考えられてきましたが、近年ではトシリズマブやリツキサンなど抗体製剤の有用性も報告され、抗炎症治療について見直されています。しかし病理所見と治療効果、予後に関しては検討が乏しく不透明な点が多く存在します。

[研究の目的] 当院で外科的肺生検を施行したSSc-ILDの患者さんにおいて、病理所見が治療効果や予後に与える影響を検討します。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

SSc-ILDの患者さんで、2008年4月1日から2021年6月30日の間に当院で外科的肺生検を施行し、抗炎症治療を受けた方

●研究期間：実施許可日から2028年12月31日まで

●利用する検体、カルテ情報

検体は利用しません。

カルテ情報：診断名、年齢、性別、喫煙歴、基礎疾患、検査結果（血液検査、画像検査、気管支肺胞洗浄、病理、呼吸機能検査）、治療薬、最終受診日、転帰

●利用する検体、カルテ情報の管理

カルテ情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

カルテ情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。当

院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

公立陶生病院

呼吸器・アレルギー疾患内科 廣田周子

電話 0561-82-5101

FAX 0561-82-9139